

はじめに

このたびは、ウォシュレットをお求めいただき、まことにありがとうございました。製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

- 1.電気工事が必要な場合は必ず電気工事に依頼してください。
- 2.商品にはお客様用として、取扱説明書（保証書付）を同梱しています。
- 3.取扱説明書中の保証書には、お買上げ店名又は工事店名及びお取付日を必ず記入してください。

安全上の注意



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 浴室など湿気の多い場所には設置しないでください。（火災や感電のおそれがあります。）
- アースは、D種接地工事（100Ω以下）を行ってください。（感電するおそれがあります。）
- 水道水及び飲用可能な井戸水（地下水）以外は使用しないでください。（皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。）
- 漏電保護プラグを交流100V（50/60Hz）のコンセントに根元まで確実に差し込んでください。またガタついているコンセントを使わないでください。（感電や火災のおそれがあります。）



注意

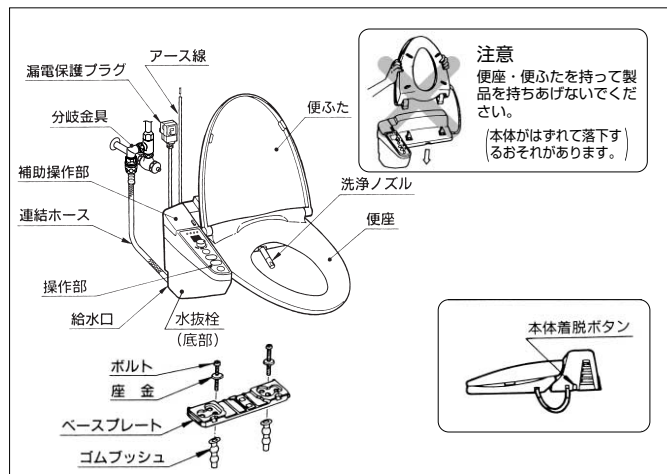
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 連結ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。（漏水するおそれがあります。）

取付前の注意

- 1.電源は、交流100V（50/60Hz）、最大消費電力は570Wです。必ずこれに適した配線をしてください。
- 2.電源コードの長さは1.0mです。コンセントは本体のコード取出し位置から0.6m以内の壁面に設けてください。
- 3.給水圧力範囲は0.05MPa～0.75MPaです。
この圧力範囲でご使用ください。
- 4.給水温度は0～35℃です。この温度範囲でご使用ください。
- 5.連結ホースの長さは0.97mです。給水取出し位置は、本体の給水口から0.7m以内に設けてください。
- 6.製品への通電及び通水は取付作業をすべて終わってから行ってください。

各部の名称



部品の確認

まず、次の部品があることを確認してください。

①ウォシュレット本体			
②ベースプレート部品			
ベースプレート (ストッパー付)	ボルト (2ヶ)	座金 (2ヶ)	ゴムブッシュ (2ヶ)
③分岐金具	④連結ホース	⑤取扱説明書（保証書付）	

仕 様

項 目	内 容
定 格 電 源	交流 100V 50/60Hz
定 格 消 費 電 力	570W
1時間当たりの標準消費電力量*	31Wh
電源コード長さ(同アース線長さ)	1.0m
洗 浄 装 置	吐水量
	おしり洗淨 約0.4～1.1L/min (水圧0.2MPaのとき)調節可
	ビデ洗淨 約0.5～1.0L/min (水圧0.2MPaのとき)調節可
	吐 水 温 度 温度調節範囲 約30～40℃
	ヒ ー タ 容 量 500W
	タ ン ク 容 量 1.0L
暖 房 便 座	安 全 装 置 温度ヒューズ・温度過昇防止器 空焚防止フロートスイッチ
	逆 流 防 止 パキュームブレーカー・逆止弁
	表 面 温 度 温度調節範囲 約30～40℃
	ヒ ー タ 容 量 50W
脱臭機能	安 全 装 置 温度ヒューズ
	方 式 O ₂ 脱臭 風 量 0.09m ³ /min
給 水 圧 力	最低必要水圧：0.05MPa（流動時） 最高水圧：0.75MPa
給 水 温 度	0～35℃
周 囲 使 用 温 度	0～40℃
製品寸法	洗 落 し 便 器 用 幅 516mm 奥行 497mm 高さ 280mm
	そ の 他 の 便 器 用 幅 516mm 奥行 527mm 高さ 280mm
製 品 質 量	5.6kg (JII) 5.4kg (JI)

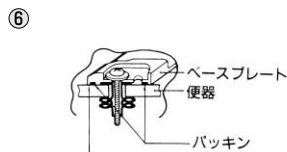
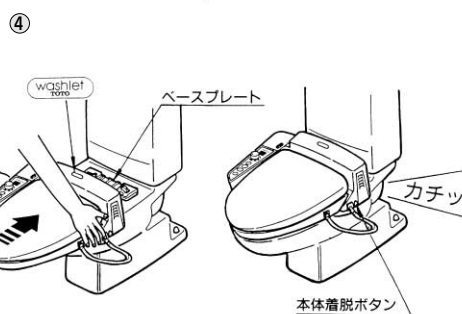
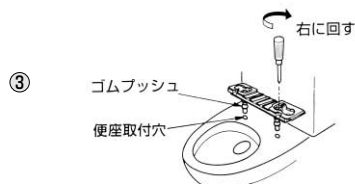
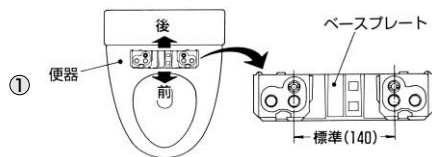
※1日12回使用で年間平均にて計算しています。

取 付 方 法

1. 便器への取り付け

一般の便器への取り付け

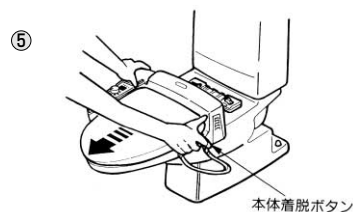
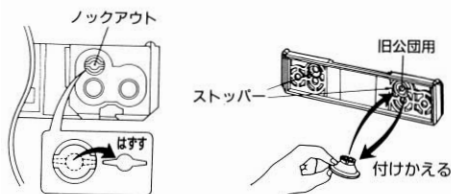
- ① ベースプレートの取り付け方向を確認する。
 - 前後と表示している面が表側です。前と表示している方を便器の先端側に向けます。
- ② ベースプレート表側から座金・ボルトを差し込み、裏側からゴムブッシュを3山程度ねじ込む。
- ③ ゴムブッシュを便器取付穴に差し込み、上面からドライバーでボルトをかるく締めておく。
 - ゴムブッシュの表面をぬらしておくとし込みやすくなります。
- ④ 本体を取り付ける。
 - 本体の「washlet」ラベルとベースプレートの中心が合うようにして、「カチッ」と音がするまで押し込むと位置が合わせやすくなります。
- ⑤ 本体がまっすぐに取付くことを確認し、いったん本体を取りはずす。
 - 本体は本体着脱ボタンを押したまま手前に引くとはずせます。
- ⑥ ベースプレートが便器に当たるまでボルトを本締めした後、再びウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまで押し込む。



バックシムがつぶれて、ベースプレートが便器にあたるまで締めつける。

旧公団用便器への取り付け

- 旧公団用の取付穴を使う場合はノックアウト部を取りはずしてください。
- ベースプレートについているストッパーを旧公団用の穴へ付けかえてください。



※本体を便器にセットした際、上下左右に若干のガタツキが発生します。これは「本体ワンタッチ着脱方式」を行うために設けたスライド部のすき間によるもので異常ではありません。

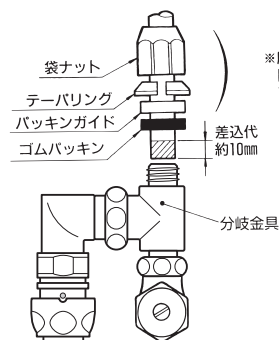
2. 分岐金具の接続

一般のロータンクから取水する場合

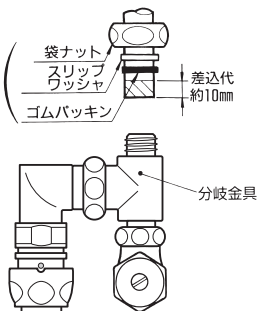
- ① ロータンク止水栓を閉める。
- ② 給水管を取りはずす。
- ③ 分岐金具を上図のようにロータンク止水栓に取り付ける。
- ④ 給水管を約10mmの差込代がとれる寸法に切り、接続する。

A部詳細

接続部にテーパリングを使用している場合

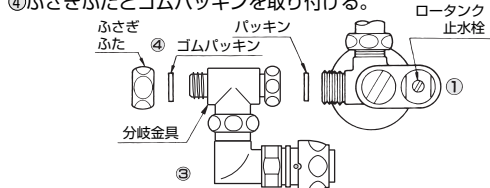


接続部にテーパリングを使用していない場合



ワンピース便器から取水する場合

- ① ロータンク止水栓を閉める。
- ② ふさぎふたとゴムバックシムを取りはずす。
- ③ 分岐金具を下図のようにロータンク止水栓に取り付ける。
- ④ ふさぎふたとゴムバックシムを取り付ける。



フラッシュバルブから取水する場合

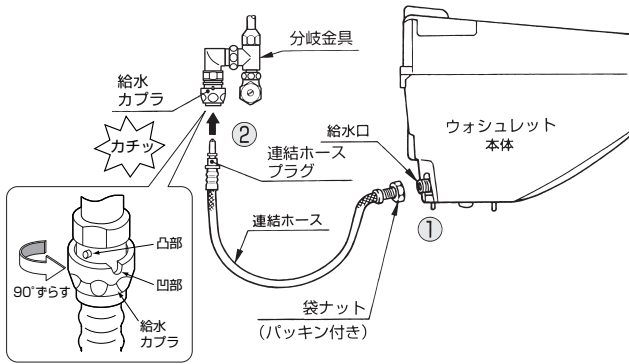
フラッシュバルブから取水する場合は、別売品のTH484 (フラッシュバルブの給・排水心120mm用) 又はTH484-1 (低圧フラッシュバルブ用) が必要となります。

右給水の隅付タンクから取水する場合

隅付タンクの給水が向って右側の場合は、連結ホースが短いので別売品のTCA58が必要になります。

3. 連結ホースの接続

連結ホースの接続のしかた

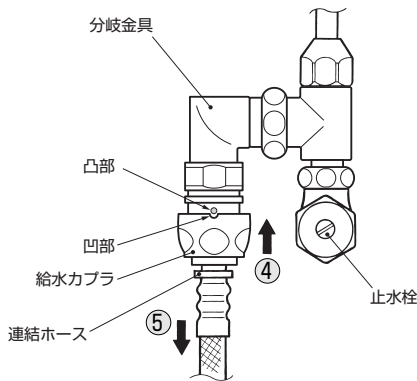


① ウォシュレット本体の給水口と連結ホースを接続する。
※袋ナットを確実に締めつけてください。

② 分岐金具の給水カブラに連結ホースのプラグを「カチッ」と音がするまで差し込む。
※給水カブラの凸部と凹部を90°ずらしてください。

※本体の取り付け・取りはずしがスムーズに行えるだけのホースの余裕を確認する。

連結ホースのはずしかた



図は連結ホースの接続状態を示す

① 連結ホース内の残水を受けるために、水受けを用意してください。

② 止水栓を閉める。

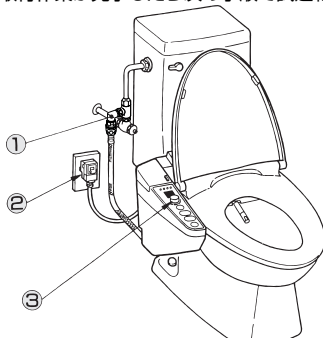
③ ロータンクの水を流す。

④ 給水カブラの凹部と凸部を合わせ押し上げる。

⑤ 給水カブラを押し上げたまま連結ホースを引き抜く。

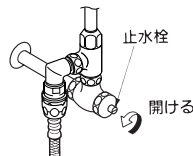
試 運 転

取付作業が完了したら次の手順で試運転を行ってください。



1. 水漏れの点検

止水栓を開いて配管から水漏れがないことを確かめてください。



② 脱臭機能を確認する(JIIのみ)



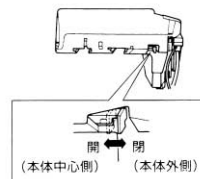
● 本体の右側から風が出ていますか？

③ 洗浄機能を確認する



● (ノズル) を押すとノズルから適温の温水が吐水しますか？
吐水は手のひらで受けてください。
(温水タンクが空のときは吐水するまで約1分、
温水になるまで約5分かかります。)

※ノズル左側の排水口から水が出るときは水抜きレバーを「閉」位置に移動させてください。



● (水勢調整ダイヤル) を回すと水勢が変化しますか？
● 本体から水漏れはありませんか？
● (ストップボタン) を押すと止まりますか？

④ 暖房便座を確認する

● 便座があたたまっていますか？
(15～20分かかります。)

⑤ 着座センサーの白紙をはすす

● 着座センサーをおおっている白紙をはすします。

2. 漏電保護プラグの確認

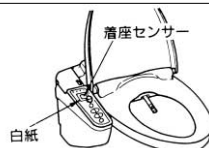
- ① 漏電保護プラグを100V(50/60Hz)のコンセントに差し込んでください。
※ノズルがいったん出て戻る初期動作を行っているか確認してください。
- ② 漏電保護プラグが正常に作動することを確認してください。

切(テスト)ボタンを押すと切表示ランプが点灯し、入(リセット)ボタンを押すと消灯する動作が正常です。切表示ランプが点灯している状態では通電されませんのでテスト後は必ず入(リセット)ボタンを押してください。

(※漏電保護プラグを落下させてしまった場合などに切表示ランプが点灯する場合があります。入(リセット)ボタンを押してください。)

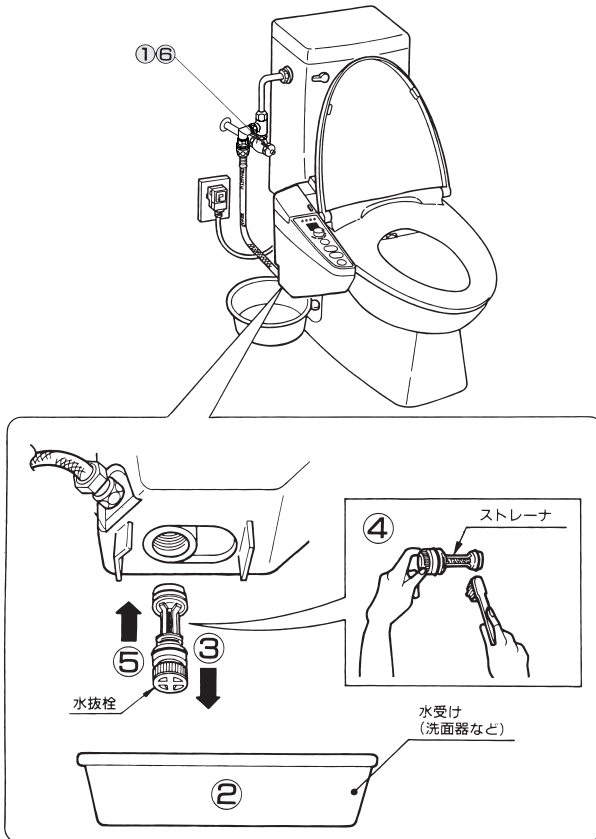
3. 機能の確認

- ① 着座センサーを白紙でおおう
(白紙でおおうと着座センサーが感知した状態になります。)



ストレーナの掃除

ストレーナに水あかやごみが詰まるとおしり・ビデ洗浄時の水勢が弱くなります。施工後は必ずストレーナを掃除してください。

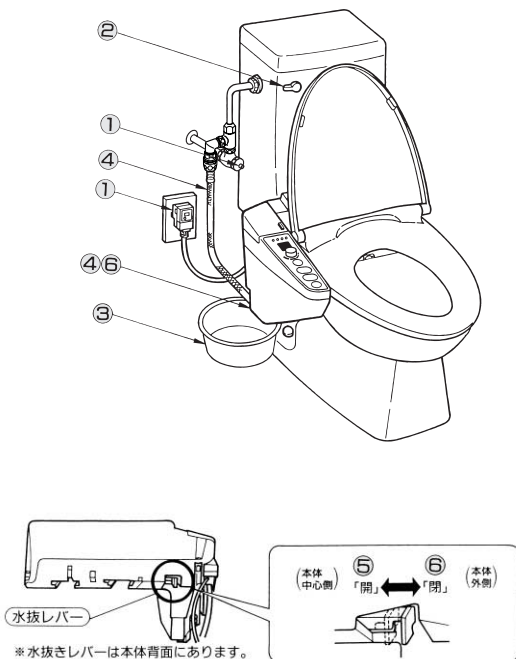


掃除方法

- ① 止水栓を閉める。
- ② 水抜栓の下に水受けを置く。
- ③ 水抜栓を手で左にまわしてゆるめた後、引き抜く。
- ④ ストレーナを歯ブラシなどで掃除する。
- ⑤ 水抜栓を押し込んだ後、手で右にまわしてウォシュレット本体側に確実に締めつける。
- ⑥ 止水栓を開けて、漏水がないことを確かめる。

凍結のおそれがある場合の処置

お客様に引渡しされるまでに凍結のおそれがあるときは漏水事故予防のため水抜きしてください。



水抜き方法

- ① 漏電保護プラグを抜き、止水栓を閉める。
- ② レバーハンドルを操作し、ロータンの水を抜く。
- ③ 水抜栓の下に水受けを置く。
- ④ 連結ホースの水を抜く。
 - 水抜栓を手で左にまわしてゆるめた後、引き抜いて水を抜いてください。
 - 連結ホースを持ち上げて連結ホース管内の水を完全に抜いてください。
- ⑤ 温水タンクの水を抜く。
 - 水抜きレバーを「開」位置に移動させ、温水タンクの水を抜いてください。
(水抜きレバーの操作はウォシュレット本体を便器に取り付けた状態で行ってください。)
 - 温水タンクの水はノズル左側から便器内に出ます。
(約1ℓの水が出ます。水抜きは約2分で終わります。)
- ⑥ 水を抜き終わったら……
 - 水抜きレバーを「閉」位置に移動させてください。
 - 水抜栓を押し込んだ後、手で右にまわしてウォシュレット本体側に確実に締めつけてください。

工事店様へ

取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。ウォシュレットの機能・使いかたについてお客様に説明してください。
新築などでお客様に引渡すまでに時間があるときは、漏電保護プラグを抜いておいてください。